

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		藤井 智史		所 属		工学部 電気電子工学科		職 名		教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果				
教育	0.30	学部担当科目についてはJABEEの基準を満たす講義を行う。大学院担当科目は、輪講形式で実施し学生の自主的学習を促すようにする。 3年次担当教員として、担当学生に履修指導を行なう				0.30	学部担当科目(電気電子計測工学ⅠおよびⅡ、通信工学Ⅰ)についてJABEE基準を満たす講義を行った。大学院担当科目(信号処理特論)は輪講形式にて実施するとともに毎週課題を出して自主学習を促した。3年次担当教員として16名の学生を担当し履修指導を行い、就学相談に応じた。				
研究	0.40	科研費継続交付に向けて成果発出する。SCOPE継続交付に向けて成果発出する。国際学会1件以上、国内学会等2件以上、論文投稿掲載2件以上を目標とする。				0.40	科研費研究テーマに関する論文発表を行い、同論文に対して港湾協会論文賞を受賞した。総務省SCOPEにて沖縄科学技術大学院大学と共同で研究を進めた。OSJに日本代表者として海洋レーダシステムの解説論文執筆依頼を受け発表した。九州大学応用力学研究所研究集会の代表者として主催した。国交省国土技術政策総合研究所・関西大学をととも津波観測技術を三菱財団研究助成に応募し採択され研究開始した。三菱電機からの委託研究テーマを受託した。				
社会貢献	0.20	総務省と協力して、ITU-Rでの会議において、日本国代表として技術基準作成に貢献する。				0.20	ITU-R WP5B会合に日本国政府代表(総務省参与)として2度参加し、技術基準策定に貢献した。 国内における海洋レーダの導入・研究に関して技術支援ならびに総務省対応などの援助を行った。				
管理運営	0.05	学科内委員会の委員とし職務遂行する。				0.05	大学院入学者選抜委員長として大学院入試実施を遂行した。				
進路指導	0.05	研究室4年次学生に対して、就職希望者には進路相談、推薦状作成等に対応し、大学院進学希望者には入試指導、大学院につながる研究指導を行う。大学院博士前期課程学生に対して、進路についての相談にのり就職等のサポートをする。				0.05	研究室4年次学生就職希望者ならびに大学院前期課程2年次学生の就職相談に対応し推薦書作成など支援した。結果、就職希望者全員5月段階で内定を決めることができた。大学院進学希望者には、研究指導に加えて学習指導を行い入試に合格することができた。				
	0.00					0.00					
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 				1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前	長田 康敬		所 属	工学部 電気電子工学科	
職 名	教授				
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウエイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.25	<p>(1) 学部の講義:情報関連の講義「電子計算機Ⅰ」、「電子計算機Ⅱ」、「情報数学」、「情報理論」を担当し、新しいこの分野の技術を紹介していくことに努める。</p> <p>(2) 上記の学部の講義のうち、「電子計算機Ⅰ」と「情報理論」のテキストを執筆し、出版できるよう準備を進める。</p> <p>(3) 博士前期の講義である「ディペンダブルシステム特論」(「Advanced Dependable Systems」)の英文の資料を作成し、講義の最初の所でこの分野の概論と基本的な技術の習得を目指す。</p> <p>(4) 博士後期課程の講義および論文指導を強化し、充実したものとするため、手引書を執筆し、これに基づいて実践的な指導を行なう事を計画している。場合によっては、学科や研究科の枠を超えて改善に取り組む。</p>		0.25	<p>(1) 学部の講義:情報関連の講義「電子計算機Ⅰ」、「電子計算機Ⅱ」、「情報数学」、「情報理論」を担当し、この分野の新しい技術を紹介した。特にコンピュータに関する技術や展望を講義した。</p> <p>(2) 「電子計算機Ⅰ」と「情報理論」のテキストを執筆し、ほぼ出版できるよう準備を行なった。また、新たに「情報数学」の教科書の執筆に着手した。前に共立出版より出版した「情報数学入門」は廃版となる。</p> <p>(3) 博士前期の講義である「ディペンダブルシステム特論」(「Advanced Dependable Systems」)の英文の資料を作成し、講義の最初の所でこの分野の概論と基本的な技術の講義を行なった。</p> <p>(4) 博士後期課程の講義および論文指導を強化・充実するための手引書の執筆を開始した。</p>
研究	0.25	<p>(1) 複数の科研費のプロジェクトに参加し、推進していく計画である。プロジェクトは他学科および沖縄高専との共同研究となる。</p> <p>(2) TLOの研究資金およびライフスタイルイノベーションに関する研究資金に応募する予定である。</p> <p>(3) 多値論理とファジー論理を応用したデジタルシステムの開発、および実装を行なっていく。特に非同期システムや耐故障システムを設計し評価する。本年度は国際学会での発表と院生の論文投稿に力を入れていく計画である。</p> <p>(4) 以前から計画している3値論理素子の論文投稿と、B型およびC型の3値論理と非同期システムの理論的側面を扱った論文投稿を行なう計画である。</p>		0.25	<p>(1) 情報工学科との科研費のプロジェクトに参加し、推進している。沖縄高専とのプロジェクトの共同研究を行なった。</p> <p>(2) TLOの研究資金、ライフスタイルイノベーションに関する研究資金に応募し、採用された(LED水耕栽培)。</p> <p>(3) 多値論理とファジー論理を応用したデジタルシステムの開発、および実装を実行中。非同期システムや耐故障システムを設計し評価している。3値論理のゲート回路の論文を電子情報通信学会に投稿した。</p> <p>(4) 3値論理素子の論文投稿を行なった。B型およびC型の3値論理と非同期システムの理論的側面を扱った論文を執筆中である。</p>
社会貢献	0.15	<p>(1) 農業と情報を扱った技術により環境関連の会社及び環境設備の会社と合同で新しい製品の開発に着手していく。</p> <p>(2) 離島や北部の小中学校で電子技術と環境を扱った講演ないし授業を行なう予定である。</p> <p>(3) バイオエネルギーの一つの可能性を持つ資源を活用したシステムを設計するプロジェクトに参加する予定である。</p>		0.15	<p>(1) 農業と情報を扱った技術により環境関連の会社及び環境設備の会社(四国)と合同で新しい製品の開発に着手した。</p> <p>(2) 離島(多良間島)の防災無線の選定委員となり、機種選定やシステム評価を行なった。</p> <p>(3) バイオエネルギーの可能性およびその資源を活用したシステムを設計するプロジェクトに参加した。</p>
管理運営	0.20	<p>(1) 本年度は専攻主任としての職務に力を入れ、大学院教育の改善に力を注ぐつもりである。</p> <p>(2) 4年次指導教官としての職務を全うし、的確な指導を行なっていくつもりである。</p> <p>(3) 学内、学部および学科の各種委員に就き、わかりやすく効率の良いシステム作りに邁進したい。</p>		0.20	<p>(1) 本年度は専攻主任として職務の遂行を行なった。大学院教育の整備を行ない、「技術者の倫理」への参加も決定した。</p> <p>(2) 4年次指導教官としての職務を執り行い、的確な指導を行なった。</p> <p>(3) 学内、学部および学科の各種委員に就き、わかりやすさや効率の良さを念頭に置いたシステム作りを行なった。</p>
進路指導	0.15	<p>(1) 卒研生の進路指導を徹底し、それぞれの希望ができるだけ叶うよう指導をしていく。そのため、就職試験の指導や面接指導、および免許取得の指導を行なっていく。</p> <p>(2) 院生の就職指導を特別に行ない、研究所や大学等への就職情報を多く提供できるようにする。</p>		0.15	<p>(1) 卒研生の進路指導を徹底し、それぞれの希望ができるだけ叶うよう指導をした。そのため、就職試験の指導や面接指導、および免許取得の指導を行ない、沖縄電力2名、沖縄テレ2ピ1名など就職の結果が良好であった。</p> <p>(2) 院生の就職指導を特別に行なった。研究所や大学等への就職情報を提供した。</p>
	0.00			0.00	
計	1.00	<p>・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。</p> <p>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</p> <p>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</p>		1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)						
名前	波平 宜敬		所属	工学部 電気電子工学科	職名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果(別紙1の自己点検結果が複写される)	
教育	0.25	<ul style="list-style-type: none"> 外国人留学生の学習相談に応じ、きめ細かい指導を行う。 小テストや液晶プロジェクタ等を活用して分かりやすい講義を行う。 研究業績(論文、新聞記事など)を活用し、より実践的な講義を目指す。 研究室のゼミ等で、プレゼンテーション力を向上させるよう指導する。 		0.25	1) 留学生の学習相談に応じ、きめ細かい指導を行い、中国やベトナムでの国際会議で3編の論文を発表させた。2) 必修科目で96名受講生の電磁気学IVで小テストを毎回行い、質問をし分かりやすい講義を行った。3) NHKの人工衛星かぐやの特別番組のDVDを見せ、携帯電話を用いて電磁波のより実践的な講義を行った。4) 研究室のゼミで、プレゼンテーション力を向上させるため、英語と日本語のバイリンガルで発表できるよう指導した。	
研究	0.25	<ul style="list-style-type: none"> 学術論文や国際会議で研究論文2編以上の採択を目指す。 学内横断型若手研究者を育成するため、琉大ドリームチーム会長としての責務を果たす。 ベトナムのハノイ科学技術大学と医療用フォトニック結晶ファイバに関する国際共同研究を行う。 		0.25	1) 特願2008-226321が1件特許登録された。学術論文は、1編採択され、国際会議で6編論文を発表した。JSPSポスドクの学生との共著で、Photonic Crystal Fiberに関する著書をドイツのLAP社から出版した。2) 学内横断型琉大ドリームチーム会長として、定例の若手研究者育成の研究会を学内で、松下医学部長就任の祝賀会や産学連携の近藤事務局長の送別会などもやり、今後学部横断型の研究プロジェクトへ応募し外部資金を獲得する方向に進めながら会員同士の連携を深めることとなった。3) ベトナムのハノイ科学技術大学と医療用フォトニック結晶ファイバに関する国際共同研究を行い、6月には、日越40周年記念式典に招待され、10月には、国際会議で論文を3編発表し、12月には、ハノイ科学技術大学の終身客員教授の称号を受賞した。	
社会貢献	0.10	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流協定校の中国大連工業大学などとの国際交流を深める。 島嶼防災研究センター長として、産学官連携研究プロジェクトに応募し島嶼防災関連の研究を活性化させる。 NPO法人日本フォニクス協議会の理事として光産業の発展に寄与する。 		0.10	1) 中国・大連工大の国際交流を深め、国際会議で学生に3編論文を発表させ、波平は、「光・照明賞」を受賞した。また、12月には、中国・大連工大のベンチャー企業の光源・照明技術研究院で、LED可視光通信に関する招待講演をし、LED照明器具の商品に関する外部審査委員を務めた。2) 島嶼防災研究センター長として、H25年度戦略的研究推進経費研究プロジェクトに採択(800万円)され、島嶼防災関連の研究を活性化させた。3) NPO法人日本フォニクス協議会の理事として、主にLED照明の光産業の活性化に寄与した。	
管理運営	0.30	<ul style="list-style-type: none"> 電気電子工学科長として、学科が発展できるように改善案を色々提案し、学科運営が円滑にいくよう勤める。 工学部施設・環境委員長として、エコアクション21を推進する。 島嶼防災研究センター長として、防災・産学連携・総合研究棟の建設や島嶼防災研究センターの実質的な活性化に貢献する。 		0.30	1) 電気電子工学科長として、学科が発展できるように改善案を色々提案し、学科運営が円滑にいくよう務めた。特に、「アクティブラーニングができる教室(工3-101)の改善案」をH26年度アメニティ経費に提案し採択されたので大学院の「科学者の倫理」やゼミなどに有効活用できる可能性が大きくなった。2) 工学部施設・環境委員長として、エコアクション21を推進した。特に、島嶼防災・産学連携総合研究棟(仮称)の部屋割りの旗振り役を実施した。3) 島嶼防災研究センター長として、島嶼防災・産学連携総合研究棟(仮称)と工学部1号館との渡り廊下の建設を実現するため、大学本部の施設部と交渉した結果実現することができた。	
進路指導	0.10	<ul style="list-style-type: none"> 電気電子工学科長として、進路担当教員の進路指導活動を支援する。 研究室の指導教員として、きめ細かい学習及び進路指導を行う。 講義で、できるだけ多くの学生に質問を行い、就職・進学面接に自信を持って答えられるように学生を指導する。 		0.10	1) 電気電子工学科長として、進路担当教員の就職・進学の進路指導活動がやりやすいように支援した。2) 研究室の指導教員として、きめ細かい学習及び進路指導を行った結果、修士に進学する学生1名、就職する学生は、修士2年次1名、4年次4名、公務員志望1名を除く全員希望の会社に就職することができた。3) 電磁気学の講義で、できるだけ多くの学生に質問を行い、就職・進学で、面接がいかに重要であることを説明し、面接に自信を持って答えられるように学生を指導した。	
	0.00			0.00		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		長堂 勤	所 属		工学部 電気電子工学科	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.35	学部担当科目(制御工学I・II、情報数学、卒業研究、セミナー)を担当し、JABEEの基準を満たす講義を行う。授業アンケートの結果に対応する。			0.35	学部担当科目については、ほぼJABEEの基準を満たす講義が行えたものとする。		
研究	0.35	研究論文の採択を目指す。国内外で研究発表を行う。今年度の目標として、査読付き論文・国際学会発表論文投稿1編以上、国内学会発表2件以上とする。			0.35	今年度の研究業績:レフリー付き学術論文2件		
社会貢献	0.15	沖縄高専の講義(制御工学)を担当し、地域社会へ貢献する。			0.15	前学期において沖縄高専の講義(制御工学)を実施した。		
管理運営	0.10	安全委員会などの委員会活動に積極的に参加する。			0.10	安全委員会については、ほぼ毎回参加しており、各研究室の安全・衛生点検に加わった。大学院博士前期課程の指導教員を担当し、オリエンテーションの実施や学内発表会の準備を行った。		
進路指導	0.05	卒研生および指導担当年次学生に対して進路相談等に対応する。			0.05	担当する卒研生に対し、進路指導および就職担当教員からの連絡を行なった。本年度は担当する卒研生2名および修士生2名の進路(就職)が決定した。		
	0.00				0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		半場 滋	所 属		工学部 電気電子工学科
			職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.40	学生の学力に合わせた講義資料を準備し、学生の理解度に注意して講義を進める。		0.40	(1)今年度から担当となった電気数学IVにおいて、1回あたり60シート前後の講義資料を作成し、40分前後を1サイクルとして講義と演習を組み合わせる形で授業を進めた。受講者93名中不可5名(約5%)。(2)電気数学I(夜間主)では、昨年度の講義資料を改定して同様に講義をおこなった。受講者数11名、不可0名(0%)。(3)エンジニアリングデザイン講義資料を改定し、これに基づいて講義をおこなった。授業評価アンケートによると、回答者63名中56名(89%)が「講義資料は適切だった」と回答している。(4)今年度開講の電気電子工学概論IIにおいて、講義の準備に積極的に参加し、自分の担当分では独自の講義資料を準備して講義をおこなった。(5)指導している大学院生が計測自動制御学会九州支部代11回学生発表交流会において最優秀発表賞を受賞した。
研究	0.40	(1)非線形制御理論に関する研究を進める。(2)年度内に1本以上論文を投稿する。		0.40	(1)IEEE Transactions on Automatic Controlに論文を1本投稿した。(2)計測自動制御学会第1回制御部門マルチシンポジウムで発表予定。
社会貢献	0.05	講義資料や出版済み論文などを、著作権上問題がない限りにおいて、適宜ホームページにて公開する。		0.05	電気数学I、電気数学IV、科学者の倫理(大学院)、エンジニアリングデザイン、電気電子工学概論Iの講義資料を公開した。また、平成24年度卒業研究の内容をホームページに公開した。平成25年度におけるホームページへのアクセス件数はIPアドレスで見ても1日あたり平均792件である。
管理運営	0.10	(1)計算機システム管理運営委員長として学科ネットワークの管理運営作業をおこなう。(2)各種委員会の業務に取り組む。		0.10	計算機システム管理運営委員長としてネットワーク保守作業をおこなった。また、工学部研究推進委員会委員として積極的に発言した。学科会議でも積極的に発言し、学科運営が合理的におこなわれるよう努力した。
進路指導	0.05	就職活動の進め方について学生に指導する。		0.05	学生に対して丁寧に就職指導をおこなった。学部生と大学院生合計5名のうち4名の進路が確定した(1名は未定)。
	0.00			0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		長名 保範	所 属	工学部 電気電子工学科	職 名	助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 評価結果	
教育	0.35	卒業研究の指導および大学院講義については特に、昨年度の反省を生かして改善を行っていききたい。		0.37	卒業研究は適切なテーマとゴールの設定、および指導ができたと考えている。学生による研究会発表も行うことができた。大学院講義については、昨年度の反省を踏まえて内容の順番を再構成した結果、最終課題の達成度が昨年度にくらべて大幅に改善し、学生の理解度もよりよくなったものと考えている。	
研究	0.40	本年度獲得した科研費により、従来から続けている流体計算向け高性能計算機アーキテクチャに関する研究を加速させ、年度末には国際会議への投稿(1件)を目指す。また、昨年度から開始したゲノム解析ツールについては、年内にshort paperとして論文誌に投稿できる形に仕上げることをめざす。		0.40	流体向け高性能計算機アーキテクチャに関する研究を本格化させ、各種の基盤ハードウェアの実装を行った。成果の一部は年末の ICFPT2013 で発表を行った。ゲノム解析ツールについては、学外機関との共同研究に発展したため、年度内の投稿は見送ることとしたが、研究は継続中である。	
社会貢献	0.15	電子情報通信学会の英文論文誌編集委員・研究専門委員などの活動を継続する。また、12月に開催される国際会議ICFPTの組織委員会、またCANDARのプログラム委員としてそれぞれの会議の開催に向けた準備を行う。		0.15	左記の各委員会の活動については十分な働きができたと考えている。また、12月には次世代リコンフィギャラブルハードウェア創造研究会(JACORN2013 Winter)を沖縄で開催し、2014年6月開催のHEART2014の委員としての活動を開始した。	
管理運営	0.05	学科の各委員会の活動を通じて大学の管理運営業務を行う。		0.05	学科および学部の各委員会業務を行った。	
進路指導	0.05	主にゼミ生と、指導教員として担当している3年次夜間生の学生について進路指導を行う。		0.03	今年度は卒研生が有職者と進学希望者だったため、指導教員を担当している3年次夜間生の進路指導を必要に応じて実施した。	
	0.00			0.00		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		山里 将朗	所 属		工学部 電気電子工学科	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.30	学部担当科目(回路理論 I, 量子力学 I, 電子デバイス工学 I, 電子物性工学 I)を担当し, JABEEの基準を満たす講義を行う。			0.30	学部担当科目(回路理論 I, 量子力学 I, 電子デバイス工学 I, 電子物性工学 I)を担当し, JABEEの基準を満たす講義を行った。		
研究	0.30	大学院修士課程の学生と共に研究発表及び論文を1件以上採択を目指す。科研費及び民間外部資金を獲得し, 関連企業との共同研究を継続し, 実社会に応用できる技術の研究開発に努める。			0.30	科研費及び民間外部資金(高橋財団)を獲得し, 関連企業との共同研究を継続し, 実社会に応用できる技術の研究開発を行った。学会発表を行い, 本年度の結果について論文執筆している。		
社会 貢献	0.10	高校訪問, オープンキャンパス等を通して, 電気電子工学の社会における役割を紹介する。			0.10	オープンキャンパス等を通して, 電気電子工学の社会における役割を紹介した。		
管理 運営	0.25	予算委員会, 科目検討委員会, 工学部教育委員などの委員会活動に積極的に参加する。			0.25	JABEE委員会, 予算委員会, 科目検討委員会, 工学部教育委員などの委員会活動に積極的に参加した。		
進路 指導	0.05	年次指導教員として, 学生の進路指導を行う。			0.05	年次指導教員として, 学生の進路指導を行った。		
	0.00				0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう, 記入してください。 ・記入量に応じて, 枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		比嘉 晃	所 属		工学部 電気電子工学科
			職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.25	学部の講義では電気電子工学概論Ⅰ、電子物性工学ⅠおよびⅡ、応用力学、電子デバイス工学Ⅰの4科目を担当する。講義はシラバスどおり実施する。また、卒業研究およびセミナーを指導する。また、学部4年次の指導教員として、学生の教育・指導を積極的に行い、オフィスアワーを週2時間ほど開設する。大学院では、薄膜材料工学特論を担当し、輪講形式で学生との議論を多くして、学生の理解度を高める工夫をする。		0.25	JABEEの基準を満たす講義を、電子物性工学Ⅰ、Ⅱ、応用力学、電子デバイス工学Ⅰで実施し、さらに演習等を積極的に実施して、学生の理解度向上に努めた。また、大学院での薄膜材料工学特論の講義では、各受講生との議論を重視し、より学生の専門的な知識修得に務めた。
研究	0.30	関連分野の教員および大学院生と共に研究活動を進める。また、研究成果は学会発表を3件以上、国際学術誌への掲載を1件以上を目指す。さらに、外部資金の獲得に務める。		0.20	大学院生と共に研究活動を実施し、国内学会等で研究成果の公表に務めた。今年度は、当研究室大学院生の国内学会での2件の発表にとどまっておらず、さらなる努力が必要である。
社会貢献	0.15	学外での研究会開催に参画する。また、関連企業との共同研究を進め、研究成果の産業応用などで社会貢献を行う。また、電気電子工学技術に関する公開講座を開催し、地域の方々への学習の機会を提供する。		0.15	企業とな共同研究について具体的な進展が得られなかった。公開講座に関しては、4講座を開催し、電気電子工学技術修得の機会を提供した。また、学会や企業の評議員として社会貢献を行った。
管理運営	0.15	JABEE委員会、安全委員会、安全衛生委員会、工学部および学科の管理運営に関わる活動に積極的に参加する。特に、JABEE委員会、安全委員会では委員長として、委員会活の円滑な運営を行う。その他、全学の各種委員会、工学部教授会、研究科委員会、電気電子工学科学科等の会議に出席し、各組織の運営に活動に積極的に参加する。		0.20	工学部安全衛生委員会委員として工学部の安全衛生活動に貢献した。また、電気電子工学科安全委員会、JABEE委員会の委員長として学科の管理運営活動に貢献した。
進路指導	0.15	研究室在籍の学生の進路についてきめ細かい指導・助言を行い、学生の進路決定率の向上を図る。		0.20	研究室学生の進路指導を積極的に実施した結果、学部学生5名、大学院生2名の進路が決定しており(進学3名、就職4名)、学生への指導に関して十分成果が上がったといえる。
	0.00				
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		景山 弘		所 属		工学部 電気電子工学科		職 名		准教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果				
教育	0.30	新1年次対象の電気数学Ⅰ(昼間主)、電磁気学Ⅰ(昼間主および夜間主)を担当する予定である。昨年度と同様に、毎回の講義において、前回の内容に関する小テストを行うことにより、学生の理解度を把握するとともに、学生には前回までの内容を理解したうえで次の講義を受講させるように配慮する。				0.30	新1年次対象の電気数学Ⅰ(昼間主)、電磁気学Ⅰ(昼間主および夜間主)を担当した。昨年度と同様に、毎回の講義において、前回の内容に関する小テストを行うことにより、学生の理解度を把握するとともに、学生には前回までの内容を理解したうえで次の講義を受講させるように配慮した。また、新科目として、「電子デバイス材料工学」を担当(分担)し、有機エレクトロニクスデバイス用材料について講義した。				
研究	0.30	昨年度に引き続き、金属酸化物を用いる界面制御と有機エレクトロニクスデバイスの高性能化に関する研究の一環として、金属酸化物を陰極に用いる有機エレクトロルミネッセンス素子の作製と評価を行う。また、有機薄膜太陽電池用の新しい陽極バッファ材料の開発についても行う予定である。研究成果は、論文あるいは学会発表の形で公表する。なお、少なくとも、1件以上の論文投稿ならびに学会発表を行うことを目標とする。				0.30	昨年度に引き続き、金属酸化物を用いる界面制御と有機エレクトロニクスデバイスの高性能化に関する研究の一環として、金属酸化物を陰極に用いる有機エレクトロルミネッセンス素子の作製と評価を行った。金属酸化物を陰極として用いることにより、有機EL素子の性能が向上することを明らかにした。また、高移動度を有するアモルファス分子材料に化学的ドーピングを施すことにより、新しい陽極バッファ材料を開発した。研究成果は、学会発表の形で公表した。現在、論文投稿の準備をしているところである。				
社会 貢献	0.10	昨年度と同様に、高分子学会 印刷・情報記録・表示研究会委員として、主にプリンタブルエレクトロニクス関係の研究会・講座を企画・開催する。学会・産業界の最新の研究・開発動向を社会に公表する場を設けることにより、この研究分野の発展ならびに社会への貢献に寄与する。				0.10	高分子学会 印刷・情報記録・表示研究会委員として、主にプリンタブルエレクトロニクス関係の研究会・講座を企画・開催を行った。				
管理 運営	0.15	学科内の委員会として、教育委員会、安全委員会、広報委員会、電気数学関係科目検討委員会、電磁気学関係科目検討委員会、電子物性関係科目検討委員会、オープンキャンパス委員会の各委員を担当し、学科の管理運営活動を行う。				0.15	学科内の委員会として、教育委員会、安全委員会、広報委員会、電気数学関係科目検討委員会、電磁気学関係科目検討委員会、電子物性関係科目検討委員会、オープンキャンパス委員会の各委員を担当し、学科の管理運営活動を行った。				
進路 指導	0.15	学部3年次、および、修士課程2年次指導教員を担当し、学生の進路指導にあたる。また、研究室に配属された4年生学生に対して、定期的に進路指導を行う。				0.15	学部3年次、および、修士課程2年次指導教員を担当し、学生の進路指導にあたった。また、研究室に配属された4年生学生に対して、定期的に進路指導を行った。				
	0.00					0.00					
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 				1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		金城 光永	所 属		工学部 電気電子工学科
			職 名		准教授
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウエイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.30	学部担当科目として昼間主コースにおける電子回路I, 同II, 量子力学IIおよび電気電子工学概論IIを担当し, JABEEの基準を満たす講義を行う。また大学院担当科目として量子計算機工学特論を担当し, 量子計算機のソフトウェアとハードウェアに関する講義を行う。		0.30	学部担当科目として昼間主コースにおける電子回路I, 同II, 量子力学II, および電気電子工学概論IIIに加え, 電気電子システム工学実験IIのエンジニアリングデザイン教育, 夜間主コースにおける電子回路IIを担当し, JABEEの基準を満たす講義を行った。また, 大学院担当科目として量子計算機工学特論を担当し, 最新のトピックをもとに教育指導を行った。
研究	0.30	量子計算機の実現に向けた基礎的研究開発に努める。その成果を基に国内外学会発表および学術論文など2件以上の投稿を目指す。		0.15	量子計算機の実現に向けた基礎的研究開発の成果を国内講演会において1件発表検討中である。また, 研究論文1件執筆中である。
社会貢献	0.15	回路とシステムワークショップ実行委員として学外研究会の実施に協力する。また, 公開講座として, 小学生に対し電気電子への興味を持ってもらうため, 簡単な電子工作教室を企画運営する。		0.15	回路とシステムワークショップ実行委員として8月に開催された学外研究会の実施に協力した。また, 公開講座として, 小学生向けの電気電子工作教室を企画運営した。
管理運営	0.15	教育委員, 広報委員などの学科内委員会活動に加え, 学部の広報・図書委員として委員会活動に積極的に参加する。		0.20	学科の教育委員, 広報委員および電子物性関係科目検討委員として, さらに学部の広報・図書委員長として委員会活動に積極的に参加した。
進路指導	0.10	学部昼間主コース3年次の指導教員として, 年次別懇談会, オフィスアワーなどを利用し, 学生の大学生活および進路の指導を行う。また, 研究室配属の学部生および大学院生に対し進路・就職情報提供などの進路指導を行う。		0.20	学部昼間主コース3年次の指導教員として, 年次別懇談会やオフィスアワーなどを利用し, 学生の大学生活および進路の指導を行った。また, 仮配属の企画運営を行った。さらに, 研究室配属の学部生および大学院生に対し進路・就職情報提供などの進路指導を行った。
	0.00			0.00	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエイト比が1.00となるよう, 記入してください。 ・記入量に応じて, 枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		曾根川 富博		所 属		工学部 電気電子工学科		職 名		助教	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果				
教育	0.35	前期担当の4年電子システム工学実験, 3年電気電子システム工学実験I, 後期担当の3年電気電子システム工学実験IIでの、受講生の理解度を深められるよう指導を行うとともに、しっかりとした、オリジナリティの高い報告書を作成するように指導する。				0.35	今年度担当した実験課目中, 特に3年生の電気電子システム工学実験IIIにおいて, 多数の学生に過去のレポートを写す事例が発生してしまい, 「オリジナリティの高い」報告書を書くということについての指導に, 結果が伴わなかった。				
研究	0.30	多孔質シリコンを用いた低誘電率材料の作製についてp型シリコンを用いた試料について顕著な特性改善が見られたので, 引き続いて, 実験データに低誘電率化の改善, 再現性等の追実験を行いその特性を明らかにし, 応用物理学会での発表を目指す。				0.30	低誘電率材料の作製で, 過去の実験で得られた誘電率を下回る結果が得られたものの, ばらつきが大きく再現性, および作製パラメータの関連性が明確にならず, 学会等への発表にはいたらなかった。				
社会貢献	0.05	工学部講演会総会等、講演会主催行事に積極的に参加し貢献する				0.05	夏季に行われた工学部講演会総会およびその後行われた懇親会に出席することができた。				
管理運営	0.25	工学部の交通指導委員会, 学科の教育, 実験検討, の各委員会に積極的に参加する。特に, 教育委員会においては, 担当している来年度の修学指導書の編集をスケジュール通り行い, 来年度の入学生に問題なく配布できるよう努力する。				0.25	各種委員会活動に積極的に参加でき, 現在作業中の修学手引きについても計画通りに作業が進行しており予定通り完成する見込みである。				
進路指導	0.05	卒業研究を指導している学生の進路について相談に乗り, 来年度の進路を決定させる。				0.05	研究室配属の学生2名について, 両名とも卒業が延期(卒業研究リタイヤ1名, 単位修得不足1名)となり進路の決定に至らなかった。				
	0.00					0.00					
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 				1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。					

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		金子 英治	所 属		工学部 電気電子工学科
			職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.25	本年度も引き続き小テスト、宿題を課して学生の自主学習を促す。出席率の向上、科目履修状況の向上を図る。達成度については、昨年度の同じ科目の状況との比較を行う。中間試験時に中間評価を実施し、内容分析後、場合によっては軌道修正を図る。ビデオ取りは今回も実施する。		0.25	小テスト、毎回の宿題などにより学生の予復習時間の確保を図ることができた。出席状況、単位取得は良好で満足ゆくものであった。ビデオ撮影は講義中には目の届かないところについて記録ができており、大変良好である。次年度も継続したい。
研究	0.30	研究室の全学生(修士、学部、留学生)に年間計画書(金子研究室独自のフォーマット)を提出させ、研究進捗のフォローに使う。学部生、修士とも年末の支所大会に1件ずつの論文発表を課す。修士学生(留学生は除く)には1件の学外発表を課す。自身でもジャーナル2件投稿を目指す。		0.30	年間計画は予定通り実施し、研究指導に活用した。学生全員学外発表を行った。特に4年次学生が放電学会から表彰を受け大きな励みになった。自身のジャーナル発表は、学生の海外発表の指導、国際会議の開催などのために時間がさけず、投稿準備の段階で時間切れとなった。来年度に持ち越す。
社会貢献	0.10	オープンキャンパスにて高校生相手に高電圧技術に関する展示を行い、興味を持ってもらう。2件の国際会議運営を実行委員会委員として行う。 企業との共同研究を推進する。2件以上相手企業先に学生を同行して出向き、発表、技術討論を行う。		0.10	オープンキャンパスで、新しい形の放電実演を行った。国際会議(ICF11、ICEPE2014)については無事実施することができ、琉球大学の存在感を内外に示すことができた。共同研究では学生を同行して成果発表、現地実験など成果を出すことができた。関連の論文発表も多数行うことができた。
管理運営	0.20	学生の健康状況につき点検、確認を行う。 研究室の清掃、清潔に十分な注意、配慮を行う。 学生飲酒指導、交通安全指導を不断に行う。 実験室の安全点検の励行、不具合の改善を不断に行う。		0.20	実験室のパトロール、整理整頓については適宜実施し、また、前学期、後学期とも期初めの研究室ミーティングにおいて安全、健康面について指導、注意喚起を行った。学生居室のレイアウト変更を各学期行い、健康、衛生面の配慮を行った。
進路指導	0.10	学部生の進学を援助する。3人以上の進学を確保する。 就職希望者については会社紹介、推薦状などにより十分な支援をする。 年度末の進路未定者ゼロを達成する。 学生の資格取得について援助をする。		0.10	修士への進学は3名確保できた。就職希望についても5月上旬までに内定を受け、全員の進路については予定通り完了した。 電気主任技術者試験、電気工事士、TOEFL、e-MAT(登録が遅れたが受験)など受験を支援した。
その他	0.05	研究室での合宿実施する。 土曜日などを利用した勉強会を実施する。		0.05	やんばるのバンガローを借り合宿を実施した。留学生をいれて全員で参加し、有意義に過ごすことができた。勉強会については、修士、卒研究生、仮配属生の3グループに分けそれぞれの習熟レベルに合わせた専門書講読ゼミを実施した。
計	1.00			1.00	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)							
名 前	千住 智信		所 属	工学部 電気電子工学科		職 名	教授
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウエイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.20	前学期は、学部担当科目(前期:電気法規及び施設管理(昼間主・夜間主)、エネルギー変換工学(昼間主)、後期:電気機器Ⅱ、パワーエレクトロニクス)を担当し、JABEEの基準を満たす講義を行う。また、授業を担当する各科目でTAを活用し、学生の授業理解を助ける。大学院博士前期課程学生8名、博士後期課程学生4名の研究指導ならびに卒業研究の指導(卒業研究生5名)を行う。		0.20	平成25年度の学部授業は4教科を担当した。博士前期課程の授業ではパワーエレクトロニクス特論を実施した。博士後期課程では、知的制御特論を講義した。学部の昼間主コースの講義では学生TAと学生サポートルームを併用活用し、学生の授業理解を深めるとともにきめ細かい指導を行った。博士前期・後期課程の授業では学術論文を利用し、現時点での最新技術も考慮して講義を行った。さらに研究指導している博士前期課程ならびに後期課程の学生数は合計で12名、学部学生5名を指導した。本年度で博士後期学生1名が短縮修了予定である。本研究室に所属する学生が学内外から多数受賞を得た。このような状況から、教育領域は、かなり評価できると判断した。		
研究	0.20	研究論文3編以上の採択を目指す。奨学寄附金90万円以上を獲得し、関連企業との共同研究または委託研究を実施する。ライフスタイルイノベーション創出事業へ参画し、50万円以上の研究費を獲得する。また、海外の大学の研究者と共同研究を進め、研究成果を発表するとともに、学術交流を図る。		0.20	国外の国際会議へ積極的に参加し、10編以上発表した。また、国外の学術雑誌へ論文を投稿し、本年度は5編以上掲載された。奨学寄附金も90万円以上獲得し、さらに企業との共同研究や委託研究も実施した。他の外部資金として科学研究費補助金を獲得した。各種学会の座長もつとめた。韓国の大学研究者と共同研究を進め、研究成果を国際会議で発表した。工学部の平成25年度研究貢献賞も受賞した。さらにJSPSの外国人特別研究員と産学連携研究に関する客員研究員を研究室で受け入れ共同研究を実施した。このような状況であるので研究領域は、かなり評価できると判断する。		
社会貢献	0.20	電気学会九州支部沖縄支所委員を務める。沖縄に賦在する天然ガス資源活用等に係る委員を務め、水溶性天然ガスの利活用法について提言する。那覇市の環境委員会委員を務め、那覇市の環境に関する提言を行う。公開講座を開催し、電気主任技術者の養成講座を開講し、社会へ教育・研究成果を還元する。電気学会、IEEE等の論文査読を行う。また、国際会議の各種委員を務め、国際会議による学術交流に貢献する。		0.20	電気学会九州支部沖縄支所委員を務めた。沖縄県「天然ガス資源有効活用検討委員会」の委員長、伊江村の再生可能エネルギー利用促進に関する基本計画策定における委員会の委員長をつとめた。那覇市環境委員会では、那覇市の環境に関する提言を行った。電気学会沖縄支所で講演会を開催した。琉球大学公開講座の講師も務めた。また、電気学会等の査読委員を務め、国内外の論文5件以上の論文を査読した。さらに、沖縄電力株式会社主催の第36回沖縄青少年科学作品展に参加し、ものづくり教室を開催した。国際学術雑誌であるMDPIジャーナル誌であるApplied Sciencesにおいて再生可能エネルギーに関するゲストエディターを務め、学術の発展に協力した。このような状況から社会貢献領域は、かなり評価できると判断した。		
管理運営	0.20	下記に示す学科内、学内、学内各種委員会委員を務め大学組織の管理運営に寄与する。特に学科の教育委員会では、委員長を務め、学科内の教育方法の改善に寄与する。 学科:教育委員会、就職担当 工学部:教育委員会 全学:社会系科目企画小委員会委員、全学学士教育プログラム委員会、就職センター運営委員会委員、学生生活委員会委員		0.20	学科内では、教育委員会委員長として学科内の各種教育関係の業務を統括した。さらに、学科内、学部内、学内各種委員会委員を多数務め大学組織の管理運営に寄与した。学科の就職担当として学科学部の就職指導を綿密に行った。学科学部、学内の各種委員会委員を多数務めており大学組織の管理運営に貢献している。さらに琉球大学のURGCC実施のための学士教育プログラム代表者連絡・調整会議委員を務めた。その他にも島嶼防災研究センター委員、情報セキュリティ監査責任者、IT戦略室室員も務めた。このことから管理運営領域は、かなり評価できると判断する。		
進路指導	0.20	研究室所属学生(博士前期課程3名)の就職指導を綿密に行うことにより、研究室学生の就職支援を行う。また、研究室所属学生の学部学生5名の進学に関して、TOEFLの受験指導を行うとともに、進学に必要な専門基礎科目、専門科目に関して受験勉強の支援を行う。このような努力により、研究室学生の進学・就職率100%を目指す。また、私費外国人の進学就職に関しても指導を行う。		0.20	研究室学生の就職指導、進学指導を綿密に行うことにより、学生が希望する就職・進学を達成した。学部学生の本学大学院(修士課程)への進学者は3名であり、外部からの1名(外国人私費留学生)を加えて来春4名の修士学生が本学大学院へ入学予定である。また、博士後期課程にも私費外国人留学生1名が入学予定である。さらに、就職希望学生は、沖縄電力等の優良企業へ入社が希望どおり内定している。これらの進学・就職の内定先は学生の第一希望の企業や大学院である。このような成果により、進路指導領域は、かなり評価できると判断した。		
	0.00			0.00			
計	1.00	・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		山本 健一	所 属		工学部 電気電子工学科
			職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.30	学部教育の授業では電気電子材料I, 回路理論IV(昼間主), 同(夜間主)の3科目を1年間で担当する。授業をシラバスどおり実施することに加え, 科目のホームページを開設し講義資料および補足説明の閲覧を可能とする。卒業研究およびセミナーを指導する。大学院教育では, 講義(磁気物性工学特論)を担当する。また, 学部2年次の指導教員(連絡係)になっている。オフィスアワーを週2時間ほど開設する。		0.30	全ての科目(電気電子材料I, 回路理論IV-昼, 同-夜, 磁気物性工学特論)を開講し, 授業をシラバスどおりに実施できた。授業の補助教材としてホームページを活用し, 資料配布ならびに質問への回答などに活用した。卒業研究とセミナーでは4名を指導した。2年指導教員として, 連絡係の通常業務と第3年次特別編入生の単位認定の対応ならびに事務を行った。オフィスアワーも予定どおり開設できた。
研究	0.25	面圧縮力が電磁鋼板の磁気損失に与える効果について, 単板磁気測定システムを改良し, 特性測定を継続し, 学会発表1件以上行う。		0.25	単板磁気測定システムの改良を行い, 学会発表を3件行った。
社会貢献	0.10	電気学会電力用磁性材料活用技術調査委員会のメンバーとしての活動をおこなう。本年度, 沖縄県で開催されるICF11(国際会議)実行委員を務める。		0.20	調査委員会に参加し務めを果たした。ICF11(4/15-19開催)の現地実行委員としての務めを果たした。また, 沖縄総合事務局からの要請により, 磁気探査機器性能試験に関する機器の提案ならびに試作を行った。
管理運営	0.30	学生実験検討委員会, 学科学部入試委員会, 科目検討委員会, 環境委員会の委員として学科および学部の教育環境の保持・改善および管理運営に寄与する。学生実験検討委員会では委員長となっており, 円滑な委員会活動が行われるよう統括する。工学部教授会, 大学院および電気電子工学科学科関係の会議に出席し, 各組織の運営に携わる。		0.20	学生実験検討委員会を5回開催し委員長としての務めを果たした。入試委員としての業務を果たした。科目検討委員会では担当科目の状況を説明し情報共有した。施設環境委員では新棟設計のために意見を取りまとめるなど学科と学部の役に立てた。また, 工学部教授会, 学科会議等の会議では可能な限り参加できた。
進路指導	0.05	卒業研究およびセミナー受講者に対して, 進路指導を行う。		0.05	進路指導し, 受講者(4名)全員が就職できた。
	0.00			0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう, 記入してください。 ・記入量に応じて, 枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		浦崎 直光	所 属		工学部 電気電子工学科	職 名	准教授
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウエイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.40	<ul style="list-style-type: none"> ・担当科目(電気数学Ⅲ、回路理論I)を前年度の授業評価アンケートを反映させて改善を図る。 ・前学期大学院担当科目(電気機器工学特論)のを原則英語により授業する。 		0.50	<ul style="list-style-type: none"> ・電気数学Ⅲでは、受講生が多く教室が狭いのと指摘があった。今年度から大講義室に変更し、教育環境の改善を図った。 ・今年度は、11名の受講者中5名の留学生が受講しており、英語中心とした講義を実施した。 		
研究	0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・少なくとも1件の研究成果発表(学会発表、論文投稿)を行う。 ・研究助成金等へ応募し、外部資金獲得のための活動を積極的に行う。 		0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・学術雑誌に1件の研究成果を投稿した。 ・国内会議で3件の研究発表を行った。 ・パワーアカデミー萌芽研究に応募し、採択された。 		
社会貢献	0.05	<ul style="list-style-type: none"> ・産官学関連の行事に積極的に参加する。 ・技術相談等の要求があった場合は適切に対応する。 		0.05	<ul style="list-style-type: none"> ・企業と協同しライフスタイルイノベーション創出推進事業に応募した。 ・電気自動車関連の技術相談を1件受けた。 		
管理運営	0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・JABEE委員として学科の教育改善に努める。 ・4年次指導教員の連絡係として、円滑な学科運営をサポートする。 		0.20	卒業研究発表会の実施、卒業要件の確認等、4年次指導教員の業務に取り組めた。		
進路指導	0.05	<ul style="list-style-type: none"> ・年次指導教員を担当している4年次学生に対しては、年次別懇談会をとおして進路指導を行う。 ・研究室配属の4年次学生に対しては、定期的に進路指導を行う。 		0.05	研究室に配属された4名の4年次学生にに対し、3名の大学院進学、1名の就職内定を決定できた。また、2名の修士2年次学生についても就職内定を決定できた。		
	0.00			0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	